

## 平成22年度事業報告

(自平成22年4月1日から至平成23年1月3日)

財団法人雇用開発センター

平成22年7月に一般財団への移行申請を行い、平成23年1月4日一般財団法人に移行した。22年度事業は移行を前提とした事業計画であったことから、実施予定を22年度後半に集中させたため、調査を始め事業の多くが未着手となっている(平成23年1月～3月の着手)。

### 【サイト事業】

事業計画(平成22年11月臨時評議員会、理事会承認)では、①「ひらく・ナビ」サイトのデジタル化、②今後雇用の拡大が想定される業・職種の就職支援サイトのオープン、を計画していたが、①サイトのデジタル化は平成23年1月～3月着手(23年1～3月事業計画)、②支援サイトのオープンは、介護職の体験談などをまとめたページを「ひらく・ナビ」内にオープンするにとどまった。

また、バナー広告による収入を予定していたが進捗していない。

#### 〔実施事業概要〕

- ・「ひらく・ナビ」の更新 - トピックステキストの作成・アップ
- ・リンク先のチェック・変更
- ・介護職体験談のアップ

### 【出版事業】

事業計画では、①「20歳からのじぶん計画(仮称)」の刊行、②「20歳からのじぶん計画」「50歳からのじぶん計画」ダイジェスト版の刊行、を計画していたが、①「20歳からのじぶん計画(仮称)」は、ダイジェスト版の刊行を先行させ、本誌については企画会議を開始した。②ダイジェスト版の刊行は11月中旬、「20歳からのじぶん計画(仮称)」ダイジェスト版として「自分で動く就職」を刊行した。「自分で動く就職」は23年2月現在約100万円の販売収入となっている(但し売上計上は、23年1月～3月となる)。

#### 〔実施事業概要〕

- ・「20歳からのじぶん計画(仮称)」企画会議の開催 - 企画内容のダイジェスト版への転用
- ・「自分で動く就職」の刊行 - 新卒での就職が厳しい状況にあることを踏まえ、就職活動中の、あるいは就職活動を開始する大学・短大・専修学校生に向けて、新卒就職活動の要点、課題、就職できなかったとき、就職しても短期間

で退職した時の対処法、仕事の探し方をまとめた。全国の大学・短大ならびにビジネス系専修学校就職支援部門に見本誌を送付、一括販売を促進している。また、5月からは全国大学生協連合加盟の大学生協で販売を開始する（単独生協、主要大手書店へも納品の交渉中）。

#### 【調査・研究活動】

調査・研究委員会を設置、22年度調査・研究テーマについて検討を行った。21年度調査を継続し、「20歳からのじぶん計画（仮称）」ならびにダイジェスト版への活用も想定して、学生を対象に「就労見通しと就職活動に関する調査」を実施することとした。なお、調査の実施は平成23年2月となる。